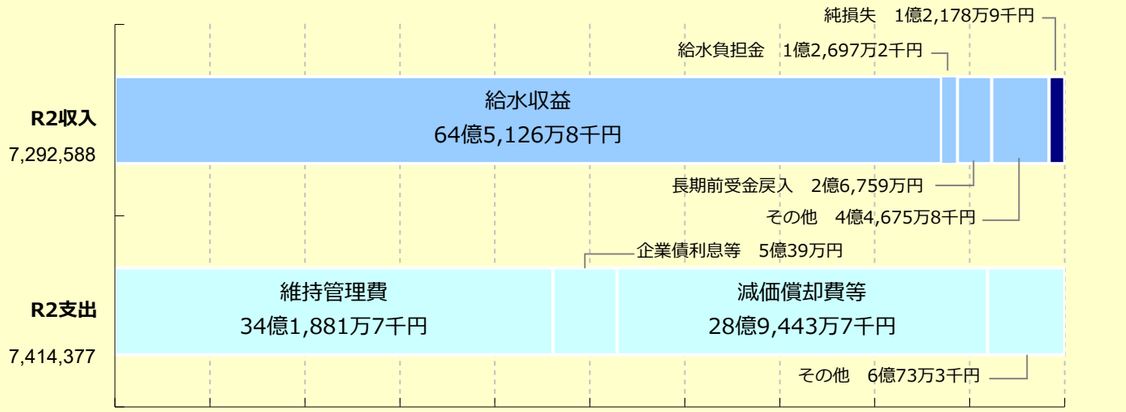
宮崎市上下水道局　令和２年度　決算概要（水道事業）

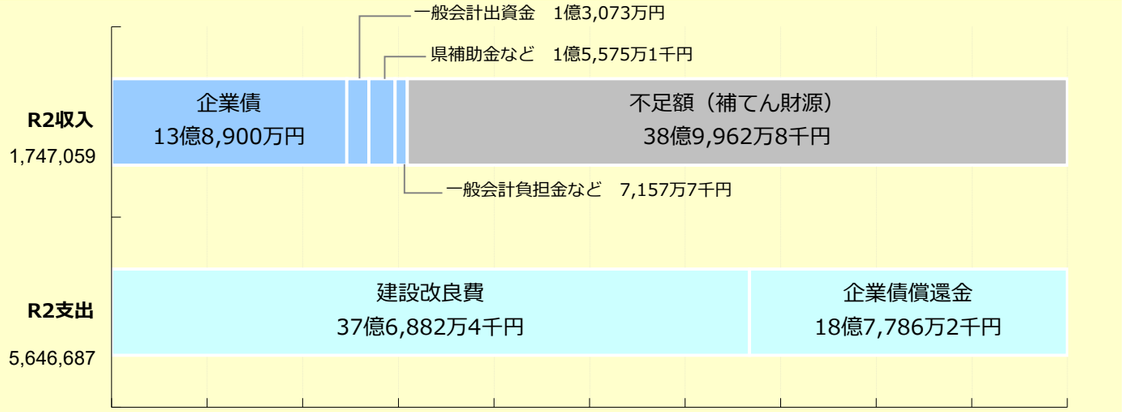
収益的収支（税抜、単位：千円）

＜１年間の企業の経営活動に伴い、発生する収益及び費用＞



資本的収支（税込、単位：千円）

＜施設の建設など支出の効果が次年度以降に及ぶ費用、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入＞



※減価償却費…長年使用する資産の取得費用を耐用年数に応じて費用化したもの

※長期前受金戻入…長年使用する資産の取得時に交付された補助金等を減価償却費と同様に収益化したもの

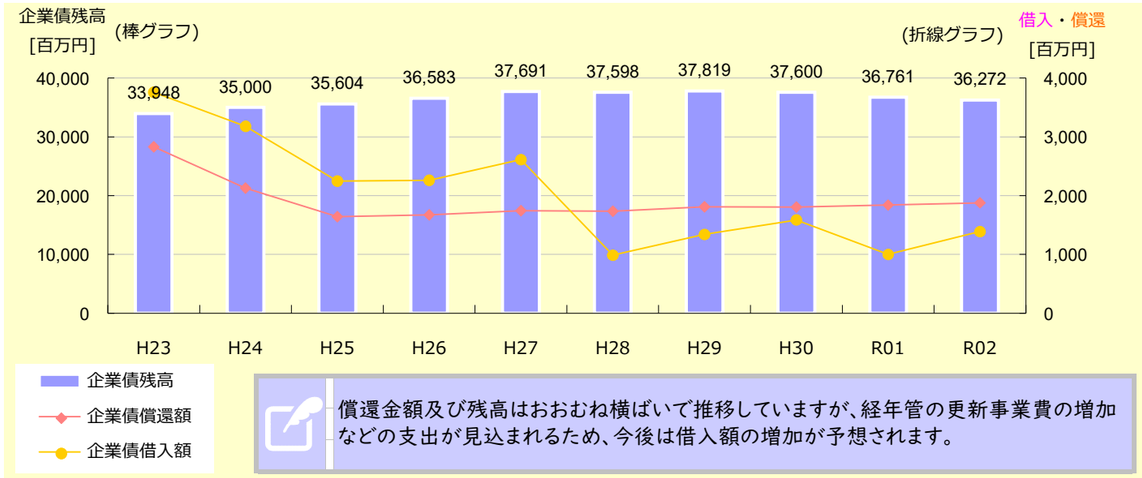
【 決算のポイント 】

・前年度と比べて給水収益が6億400万円減少しました。（内、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急経済対策として実施した基本料金減額（5億6,295万5千円：407,657件））

・純損失（赤字）1億2,178万9千円を計上しました。

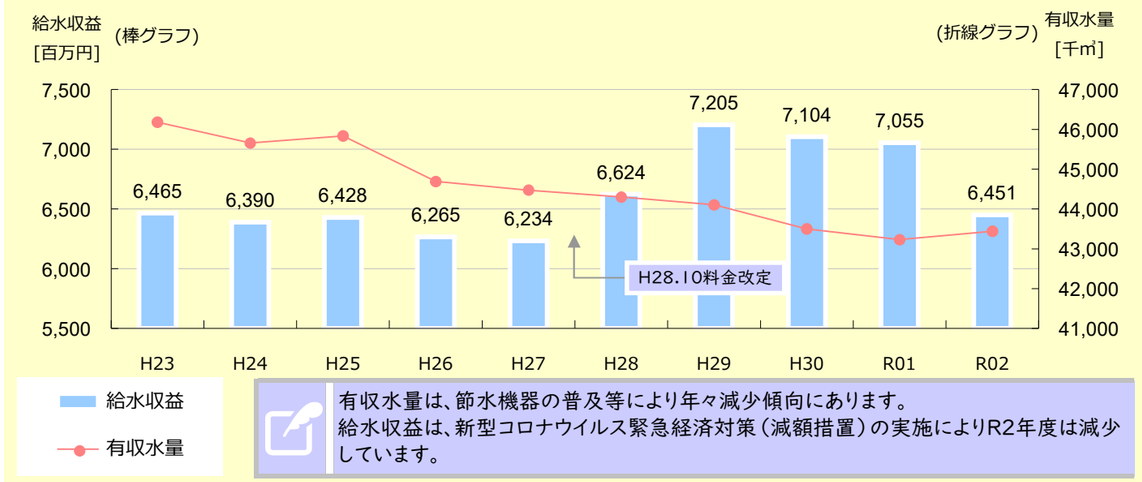
・純損失による欠損分は前年度繰越利益剰余金（1億2,178万9千円）にて補てんしました。

企業債残高及び企業債償還金の推移（単位：百万円）



償還金額及び残高はおおむね横ばいで推移していますが、経年管の更新事業費の増加などの支出が見込まれるため、今後は借入額の増加が予想されます。

給水収益及び有収水量の推移（単位：百万円，千㎥）



有収水量は、節水機器の普及等により年々減少傾向にあります。
給水収益は、新型コロナウイルス緊急経済対策（減額措置）の実施によりR2年度は減少しています。

令和2年度に実施した主な事業

①浄水場等改修事業（ 事業費：9億7,967万5千円 ）
下北方浄水場新系浄水施設整備を行っています。

②経年管更新事業（ 事業費：9億53万7千円 ）
配水管布設替工事により約12.0kmの経年管を更新しました。

③幹線管路耐震化事業（ 事業費：12億300万円 ）
災害発生時に避難所となる公共施設や拠点医療施設を中心に、市内中心部を巡る環状ルートの幹線管路の耐震化に取り組みました。